



だれでも食堂もぐもぐ開店

市内の親子を対象にした「だれでも食堂もぐもぐ」が7月22日、御前崎地区にある居酒屋「加多世」で開催されました。

参加した52人の親子は、カレーライスやかき氷、東遠地域労働者福祉協議会の協力により実施された射的遊びなどの遊戯を楽しみ、夏祭りのような雰囲気味わいました。

また、8月4日には学校法人中遠調理師専門学校マツイ学園でも開かれ、7家族19人が参加しました。メニューを考案したのは同校の生徒。「これまでに学んだことを生かしてメニューを考えた。カレーの色合いを楽しんでほしい」と話しました。参加した児童は「すべての料理が美味しくてパクパク食べられる」と頬張っていました。

▲市教育委員会の家庭教育支援事業の拠点として、地域の親子にふれあいの時間と食事を提供している「だれでも食堂もぐもぐ」の様子



自転車道 1487^{km}を調査へ

千葉県から和歌山県を結ぶ「太平洋岸自転車道」が本年5月、国からナショナルルートに指定された事を受け、同ルートの走行環境を検証するため、和歌山県の川嶋祐紀さんと西林孝紘さんの2人が1487^{km}のルートを自転車で走行しました。本市には8月10日に到着。西林さんは「多くの人に来てもらえる自転車道になってほしい」と期待していました。

◀御前崎に到着して市職員に迎えられる川嶋さん^左と西林さん^右



新学校給食センターが完成

令和元年から建設を進めてきた御前崎市新学校給食センターが完成したことから8月18日、竣工式および落成式が執り行われました。同センターは、市内12の教育施設に3200食を提供することができ、アレルギー食にも対応しています。落成式では、浜岡中学校で給食委員長を務める榎林剛希さんが「おいしい給食の提供を楽しみにしています」とあいさつしました。

◀9月6日から給食の提供を始めた新学校給食センター